

北海道開発計画調査（重点事項調査）について

○ 国土交通省北海道局・北海道開発局では、北海道総合開発計画*の企画、立案及び推進に必要な調査を実施しております。また、第8期北海道総合開発計画に掲げられた三つの目標の実現に向けて、「食」や「観光」、「北海道型地域構造」の保持・形成を重点事項と位置づけ、これらに関する調査（重点事項調査）を実施しているところです。

* 現在、「第9期北海道総合開発計画」の策定に向けて、国土審議会北海道開発分科会計画部会において検討を進めています。



令和4年度実施 重点事項調査

- ◆ 生産空間における地域産業の活性化に向けた物流システムの実装に関する調査
- ◆ 北方領土隣接地域への新たな日常における旅行者誘客調査
- ◆ 苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査

同調査の趣旨や過年度の調査内容については、北海道開発局のホームページに掲載されています。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousa/u23dsn0000001rud.html>

各自治体の施策、プロジェクトの企画立案等にお役立てください。



また、各調査内容等について詳しくお知りになりたい場合は、下記にお問い合わせください。

お問合せ先：北海道開発局 開発監理部 開発調査課 電話番号011-709-2311（内線5444）

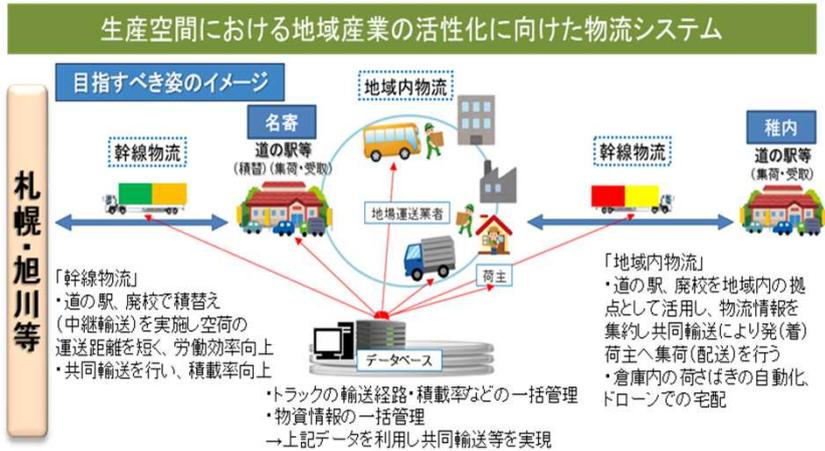
◆ 生産空間における地域産業の活性化に向けた物流システムの実装に関する調査

【概要】

北海道開発における中心的課題として、「食」と「観光」等を担う生産空間を発展させることを目指し、物流の効率化により生産空間における地域産業の活性化を図ることを目的として、デジタル技術を活用した共同輸送等に資する調査を実施する。

【調査内容】

貨物運送・宅配事業者、荷主事業者等により構成される協議体による共同輸送等の実施を目指し、検討に必要となる項目について、アンケート調査等を実施した上で、実証実験に向けた体制・スキームの構築に関する検討を実施。



◆ 北方領土隣接地域への新たな日常における旅行者誘客調査

【概要】

北方領土隣接地域の観光において、観光資源・二次交通の一元的な情報発信の試行を実施するとともに、関係機関との連携によるモビリティ・ミックスの取組や脱炭素化の効果検証等、誘客の拡大に向けた検討を行う。

【調査内容】

- ・観光と二次交通の一元的な情報発信の試行と有効性の検証
- ・GPSデータ、アンケート調査の事例をもとにCO2削減効果を算出
- ・二次交通の課題解決に向けて、観光と公共交通を組み合わせた観光コンテンツとして、冬季の観光タクシーを造成



モビリティ・ミックスによる観光地への移動の円滑化のイメージ

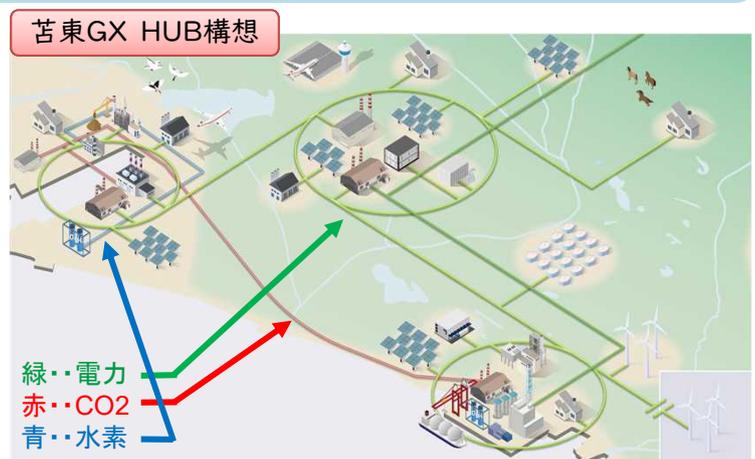
◆ 苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査

【概要】

苫小牧東部地域(以下、「苫東地域」)における再生可能エネルギー需要量・導入量の推計から需給バランスの検討、地域マイクログリッド構築の検討、再エネを活用した産業振興の検討を実施。

【調査内容】

- ・苫東地域における将来的な再エネ導入量・利用量を推計するとともに需給バランスを検討
- ・地域マイクログリッドの検討
- ・データセンター等再エネによる産業誘致の検討
- ・「苫東GX HUB構想」の提言



地域のポテンシャルを活かした再エネ導入により 安価な再エネの使用環境を整えることで 苫東地域の産業地域としての魅力を高め 産業誘致を促進